

## 28年10月分

## 問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

## 1. 調査実施期間

平成28年 10月1日～ 28年10月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
10月分の回答企業数は42社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/10月	11月	12月
仕入動向	国産材	1.5	△ 6.1	△ 4.7
	外材	2.5	△ 6.3	△ 11.5
販売動向	国産材	0.0	△ 4.5	0.0
	外材	△ 5.0	△ 5.6	△ 2.6
在庫動向	国産材	△ 6.1	△ 10.6	△ 4.7
	外材	△ 3.8	△ 3.8	△ 3.8

・国産材及び外材の製材品の仕入れは、10月のやや増加が、11月、12月はやや減少。

・国産材の製材品の販売は、10月の横ばいが、11月はやや減少、12月は横ばい。外材は3ヵ月連続して減少。

・国産材及び外材製材品の在庫は、3ヵ月連続して減少。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/10月	11月	12月
スギ正角(グリーン)	△ 2.1	0.0	0.0
スギ正角(KD)	4.0	4.0	0.0
ヒノキ正角	3.6	0.0	0.0
ヒノキ土台角	2.7	0.9	△ 0.9
米ツガ正角(現地挽)	△ 9.3	△ 3.7	△ 1.9
米ツガ防腐土台角	△ 1.9	△ 1.9	△ 1.9
米ツガ割物(現地挽)	△ 5.8	△ 1.9	0.0
米マツ平角	△ 1.9	△ 1.9	△ 2.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	0.0	△ 1.9	△ 3.8
ホワイトウッド集成管柱	5.6	0.0	△ 1.9
レッドウッド集成平角	1.9	0.0	0.0
型枠合板(輸入)	△ 26.1	6.5	14.3
針葉樹構造用合板	36.4	29.5	14.3
針葉樹構造用合板(厚物)	36.4	22.7	11.9

・スギ正角グリーン材はやや弱含みから横ばいへ、一方KD材はやや強含みから横ばいへ。ヒノキ正角、土台角はほぼ保合で推移。

・米ツガ及び米マツは弱含みで推移。

・北洋アカマツタルキ(現地挽)は10月の横ばいが、11月、12月はやや弱含み。

・WW集成管柱はやや強含みからやや弱保合に。RW集成平角は保合。

・型枠用合板は10月の弱含みが、11月、12月はやや強含み。針葉樹構造用合板は強含みで推移。